

# 長期化する新型コロナウイルス感染症の流行に対し、 これからも継続的な支援が必要です。

日本赤十字社千葉県支部は、新型コロナウイルス感染症の拡大が終息するまでの間、継続的な医療支援やこころのケアなどの活動を通じて、県民の皆様の命と健康、日常的な生活を守るための活動を続けています。

## 施設等に療養中の感染症患者への対応

新型コロナウイルス感染症患者への対応として、宿泊施設等で療養している軽症または無症状の患者を対象に、県内の赤十字関係施設が連携し、これまでに医療救護班述べ89名を派遣し、468名の診療にあたっています。



## 海外帰国者や集団感染への対応

日本赤十字社では、大型クルーズ船の下船者や外国からの帰国者の一時滞在施設へ全国の赤十字病院から医療救護班述べ255名を派遣し、対応にあたりました。

また、県内で発生した集団感染では、成田赤十字病院から感染症専門医師と感染症管理認定看護師を派遣し、感染防止策の指導にあたりました。



## コロナ禍における地域医療体制の維持

成田赤十字病院は、全国に4病院しかない特定感染症指定医療機関として、行政等からの依頼により、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ対応をしています。

また、本来の役割である地域に根ざした医療、そして高度医療の提供は、今までと変わらない体制で診療を行っています。



災害時における活動のほか、このような赤十字の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

# 赤十字活動資金へのご協力をお願いします。